

2026年4月

中川 知佳子

## 国外研究成果報告書

### 1. 研究課題

「第二言語文章理解における知覚的シミュレーションの研究」

第一言語文章理解では、知覚的シミュレーション (mental simulation) とよばれる感覚や知覚的な反応が生じることが示されている。本研究では、第二言語としての英語理解においても知覚的シミュレーションが生じるかを検証した。

### 2. 研究場所および日程

研究場所 エディンバラ大学心理学研究棟 (George Square 7 および Dugald Stewart Building)、エディンバラ大学図書館、および自宅を主な研究場所とした。  
日程 月曜日から木曜日は大学において講義聴講および図書館において文献研究・実験準備を行った。火曜・木曜には研究課題に関連するリサーチグループに参加し、発表を行うなどした。金曜日には自宅にて文献研究および実験準備を行った。

### 3. 研究活動概略

2024年度(2024年4月から2025年3月)

バイリンガリズム研究の第一人者である Antonella Sorace 教授の助言のもと、知覚的シミュレーションに関する研究計画を練り、研究調査の準備を行った。この間、複数の研究会にも参加し近接する研究分野についての最新の研究成果を知るとともに本研究課題に関する研究報告を行いフィードバックを得た。具体的には、エディンバラ大学 Bilingualism and Developmental Linguistics research group において研究報告「Motivation for Japanese-Language Learning While Studying Abroad: Cultural Factors in the Initial Learning and Study-Abroad Periods」を行った (2024年11月7日)。また、エディンバラ大学心理言語学研究会「Psycholinguistics coffee」において研究計画「Generation of Perceptual Simulations in Second Language Reading: Report on Research Plans and Challenges in the Project」を発表しフィードバックを得た (2024年11月20日)。

2025年度(2025年4月から2026年3月)

引き続き Antonella Sorace 教授の助言を仰ぎつつ、オンライン研究に対して深い知見と経験を持つ Kenny Smith 教授の助言を受け、オンラインによるデータ収集を行った。この研究成果を心理言語学研究会において「Mental Simulation in First- and Second-Language Sentence Reading: Evidence from Shape and Orientation Experiments」というタイトルで発表し、フィードバックを得た (2025年11月7日)。本研究の成果については、国際学会 Bilingualism Matters Symposium 2026 において報告することになっている。